

作成年月日	令和2年9月14日
作成部局 課室名	企画県民部災害対策局 災害対策課

令和2年度兵庫県・阪神地域合同防災訓練の実施

1 目的

自然災害と感染症の複合災害が懸念される中、関係機関が相互に連携し、感染症にも対応した避難所設置・運営に重点をおいた訓練を実施するとともに、救出救助訓練や陸海空による物資搬送訓練等を実施することにより、地域防災力の向上を図る。

2 実施日時

令和2年9月20日（日）10:00～12:00（メイン会場）

3 実施場所

- (1) 尼崎市立中央中学校（メイン会場）：感染症に対応した避難所設置・運営訓練等
- (2) 三田市立母子（もうし）小学校：孤立集落救出救助訓練等
- (3) 阪神南広域防災拠点（西宮市）：陸海空による物資搬送訓練、重傷者広域搬送訓練
- (4) 兵庫県広域防災センター（三木市）：SCU（広域医療搬送拠点臨時医療施設）設置・運営訓練等

4 訓練参加予定数

約800名（関係機関：約70機関・約700名、一般見学100名）

5 訓練想定

コロナ禍での南海トラフ地震の発生及び風水害による孤立集落の発生を想定

6 訓練の特徴

- (1) 感染症に対応した避難所設置・運営訓練
 - ア 避難所の開設（間仕切りによる身体的距離の確保、衛生資材の設置等）
 - イ 避難者の受入れ（健康チェック、体調不良者を専用スペースに誘導等）
 - ウ 避難所の運営（手洗いや3密防止等の徹底、医療関係者による衛生指導等）
- (2) 多様な場面を想定した訓練
 - ア 陸海空による物資搬送訓練、重傷者広域搬送訓練
 - イ 警察・消防・自衛隊など、複数の救助機関が連携した倒壊家屋等からの救出救助訓練
 - ウ 孤立集落を想定した救出救助訓練
 - エ ドローンの活用（複数箇所での同時飛行による被害状況のリアルタイム中継）
- (3) 多会場連携型の訓練

尼崎市（メイン会場）の他、三田市、西宮市、三木市においても、連携した実動訓練を実施
- (4) 感染症に対応した訓練スタイル
 - ア 複合災害を想定した実動訓練（感染防止に配意した救護措置等）
 - イ 感染防止に配意した会場運営（一般見学者の人数制限、身体的距離の確保等）

7 訓練内容

(1) 実動訓練

- ア 感染症に対応した避難所設置・運営訓練 (尼崎)
- イ 救出救助（倒壊家屋・車両）訓練 (〃)
- ウ 道路啓開訓練 (〃)
- エ ライフライン復旧訓練 (〃)
- オ 救護所設置・運営訓練 (〃)
- カ ドローンによる被害状況調査訓練 (尼崎・三田)
- キ 孤立集落救出救助訓練 (三田)
- ク 重傷者広域搬送訓練 (三田→三木、西宮→三木)
- ケ SCU設置・運営訓練 (三木)
- コ 陸海空による物資搬送訓練 (県庁→三田、三木→西宮、海上→西宮、西宮→尼崎)
- サ ヘリによる被害状況調査訓練 (淡路島上空)
- シ 要人搬送訓練 (県庁→三田)

(2) その他

- ア 屋外展示（災害対応車両・パネル展示等）
- イ ペット同行避難訓練
- ウ 緊急時燃料供給訓練
- エ 炊出し訓練

8 主催

兵庫県・阪神地域合同防災訓練実行委員会

（兵庫県、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町）

9 参加機関・団体

兵庫県、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、尼崎市消防局、三田市消防本部、西宮市消防局、三木市消防本部、自衛隊、海上保安本部、神戸地方気象台、近畿地方整備局、兵庫県警察、日本赤十字社、兵庫県災害医療センター、医療関係機関（D.M.A.T、J.M.A.T）、兵庫県医師会、兵庫県看護協会、兵庫県歯科医師会、兵庫県歯科衛生士会、兵庫県薬剤師会、兵庫県臨床検査技師会、兵庫J.R.A.T、ひょうごボランタリープラザ、兵庫県栄養士会、兵庫県防災士会、兵庫県柔道整復師会、兵庫県トラック協会、ヤマト運輸（株）、日本レスキュー協会、兵庫県石油協同組合、神戸学院大学、ライフライン関係機関等

＜問い合わせ先＞ 企画県民部災害対策局災害対策課 訓練・指導班 TEL 078-362-9810